

救急
対応

健康あるある
胸痛について

2015

7

vol.38



広げよう禁煙の輪 世界禁煙デー

禁煙外来開設 10周年記念講演会/演奏会



毎年5月31日は、世界禁煙デーとなっており、国際的に様々な催しがなされます。当院でも、6月1日に外来入口広場で、煙草に関する講演をはじめ、禁煙体験談、楽しいマジック、そして弦楽四重奏(当院の医師らによる)の演奏会のイベントを行いました。

6月の催し
「ゆんたく会のご案内(がん患者さんとご家族のための)」
第67回 6月24日(水) 午後2時~4時 第3会議室
第68回 7月23日(木) 午後2時~4時 第3会議室
第69回 8月26日(水) 午後2時~4時 第3会議室



頭蓋顎面センター

[地域連携室便り]
[ぽっっちゃりナースの
スリム化プロジェクト]

pickup!

頭蓋顎面センター

文:新垣 敬一

開設のお知らせ



顎面領域は、耳鼻咽喉科、形成外科、口腔外科の対象疾患を主とすることが多く、各科の境界領域に関わる難しい病気や、複数の科にまたがる病気をもつ患者さんを治療することも少なくありません。しかし、境界領域の医療は、初診で診た主治医が中心となり、関連各科とカンファレンスを行い、主治医のみで手術を行っているところが多いようです。そこで当院では、さらにより良い医療を患者様に提供するために、カンファレンスはもちろんですが、同一手術やフォローに際して、それぞれの専門科が同時に参加し、お互いの得意分野を専門科が治療を行うという専門性の高い医療技術を提供しています。具体的な疾病としては、先天的な顔面奇形、癌を含む頭頸部腫瘍や、顔面外傷などがあげられます。

2013年から、先天的な顔面奇形の口唇口蓋裂に対して、出生から成人まで一貫したチームによる医療を本島はもとより、島嶼圏である宮古、八重山においてもチームで同様な医療を展開し、良好な結果・評価を得ています。

頭頸部癌に関しては、腫瘍切除、腫瘍切除後の皮弁作製や再建術、インプラントによる咬合構築などの同時再建、特殊な義歯や装置(顎義歯や顔面エピテーゼ)による補填、

修復など体系的な治療が可能となり境界領域の“壁が”なくなり治療成績、QOL向上に寄与しています。

また、顔面外傷の治療において、整容的修復はもちろんですが噛み合わせを含めたいわゆる顔面領域全般の形態と機能の回復にも大きく貢献しています。このように、境界領域にまたがる疾患を総合的に治療する医療施設は県下には少ないため、当センターではこれまでよりも県民に地域格差のない“いつでも・どこでも安心した医療を提供する”理念を実行し、境界領域の“壁”を取り払うという使命が達成できるように地道に努力していくたいと考えています。

《頭蓋顎面センター 責任者》

■センター長 石田有宏 形成外科医

(日本形成外科学会専門医、日本頭蓋顎面外科学会専門医)

■副センター長 須藤 敏 耳鼻科・頭頸部外科医

(日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本頭頸部外科学会頭頸

がん専門医)

■新垣敬一 口腔外科 (日本口腔外科学会専門医/指導医)

■天原俊泉 歯科矯正医 (日本矯正学会認定医)

地域連携室便り

201507号

新年度が始まり、はや3か月。時がたつのは早いもので、2015年もあと半年と少しじつとしました。

個人的な近況としまして、先月は気の早い台風の対応に右往左往していました。沖縄での台風は初めてなので、いろいろな方に台風対策のアドバイスをいただき、慌てて準備をしましたが、夜から明け方にかけて時速60キロであつという間に通り過ぎてしまつていました。特に何の被害も無かつたので安堵し、つつ、本格的な台風に向けての良い予行練習となりました。

さて、今年度は当院の管理職の顔ぶれが一新されました。前号でご挨拶を差し上げた上原院長、比嘉看護部長を始め、本竹副院長、仲間事務長が新しく就任致しました。それに伴い、新年度のご挨拶のため、前述のメンバーで時間の許す限りではありますが、様々な医療機関を訪問させていただきました。

訪問にあたって、日程調整を行つていただきました各ご担当者にはこの場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。内部の時間調整や、こちらの都合で日程をずらしていくだいたいと本当

にお手数をお掛けしてしまいましたが、どの訪問先でも温かく迎えていただきました。

お話を中では今後大きく影響されるで

あろう地域医療構想、沖縄県内的一般病床数の不足、高齢者の看取り受け入れ施設に関することなど多岐に渡つて意見交換をさせていただけました。

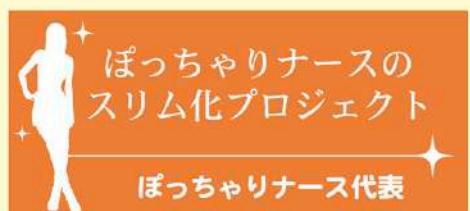
今回は時間の関係上、残念ながら訪問させていただけなかつた施設が多数ございますが、今後ともよりよい互恵関係を保てるように努力して参ります。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室 佐々木



左から、仲間元子事務部長、本竹秀光副院長、上原元(はじめ)院長、比嘉真利子副院長兼看護部長 翁長悦子看護主幹



いよいよ夏到来!! ちょっととぽっちゃんナースには、暑苦しい季節になつてもますます、パワーアップのP子です。本当のところ、主治医ドクターが研修のため院外に離れてしまった。毎週水曜日リハビリ室で開催しています。

内容はバランスコーディネーション+有酸素運動(60分)のメニューで、P子のダイエットサポートの一員Hさんがインストラクターとなり一緒に活動しています。P子と一緒にダイエットしたい人、運動したい人、体を動かしながら日々のダイエットにメリハリをつけた生活をしたいと思う方は是非一度

月から約1か月間開催した健康セミナーに参加したメンバーを中心に行なった企画です。それでも院内では、P子の予想を超える勢いでプロジェクトは進行中です。6月より健康相談室とのコラボで「ハイテンションな美活」・略してハイ・美・力「サーキル」がスタートしました。

このプロジェクトは昨年度2月に開催した健康セミナーに参加したメンバーを中心に行なった企画です。なかなか運動する機会の少ない職員と肥満と判定された

BMI30以上の職員のために始めたのがきっかけとなりました。毎週水曜日リハビリ室で開催しています。

内容はバランスコーディネーション+有酸素運動(60分)のメニューで、P子のダイエットサポートの一員Hさんがインストラクターとなり一緒に活動しています。P子と一緒にダイエットしたい人、運動したい人、体を動かしながら日々のダイエットにメリハリをつけた生活をしたいと思う方は是非一度お越しください。

今年は「継続できる」を目標にダイエットに励みつつ女子力アップしていきます。



胸痛について

健康 あるある

救急対応



今日は胸痛についてお話しします。

一口に胸痛と言つても、個人によつて「胸痛」はさまざまに感じられます。例えば「胸焼け」、「胸が絞られる感じ」、「胸のムカムカ」などなどです。ただの胸焼けだから大丈夫だとか、すぐに良くなつたから大丈夫などと、胸痛を軽くみていると非常に危険な状態におちいることがあります。胸痛には様々な怖い病気が隠れていることが多いのです。さらに、その怖い病気の前兆としても胸痛は重要です。

もちろん、胸痛を感じて病院に行つたが心配ないと言われたことを経験された方もいらっしゃるでしょう。しかし、前述したように原因は怖い疾患であることも多く、胸痛を感じた場合「自分はきっと大丈夫」と思い込まず、病院で診察を受けられることをオススメします。

(救急救命センター医師 宜保 光一郎)



新人歓迎球技大会 in 北谷ボウル

平成27年5月8日(金)北谷ボウルにて新人歓迎球技大会を開催しました!

参加は102名、計22チーム。大いに盛り上がり熱戦が繰り広げられました。好プレー・珍プレーが続出する中、団体の部で優勝したのは「リハビリ室」でした。ちなみに団体2位の看護部、団体3位の地域連携室は女性のみのチーム。圧倒的なパワー?!で大活躍でした。

ボウリング後の懇親会は、新人を含め職種間を超えた良いコミュニケーションの場となつたようです。ブービー賞や跳び賞もありますので、今回参加できなかつた職員は、次の機会にぜひ参加して下さい!!



「ちゅうぶshow」では中部病院ならではの取り組みをこっそり紹介します。



ヤンバル歳時記

県立病院・リレー連載

副院長兼看護部長 吉田智恵美

この度、4月1日だけで北部病院へ異動いたしました吉田智枝美です。中部病院で過ごした2年間は、活気のある職場と、やりがいのある仕事を惜しまれ今思うと本当にあつという間でした。中部病院で出会つた皆様には、本当にお世話になりました。

移動先である北部病院は、市街地名護に位置し、花と緑に囲まれたすばらしい環境の中になります。また、名護市といえばオリオンビールが有名ですが、その他にも「かりんとうまんじゅう」や「パイ」などのお菓子がおいしく聞いております。

出張でお越しの際には、ぜひともご一報下さい。これからも、中部病院で教えていただきたい2年間を忘れずに、人と人とのつながりを大事にしながら、楽しく仕事をしていくべきだと思います。



日本一早い桜 沖縄県北部ヤンバル

沖縄県立中部病院へのお問合せ

〒904-2293 沖縄県うるま市宮里281

TEL: 098-973-4111(代)

FAX:[代表]

098-973-2703

[地域連携室]

098-982-6568

沖縄県立中部病院

検索

ホームページ <http://www.hosp.pref.okinawa.jp/chubu/>

